

A. 主な動き

1. 内政

▼大統領選挙日程の決定

- ・2日、議会は、全議会政党の賛成をもって、12月16日に大統領選挙を実施する旨の民主党の提案を承認。
- ・2日、大統領特別委員会は、12月16日の選挙に向けた第1回会合を実施。デリウ同委員長は、大統領候補の登録期間を12月5日から13日までの間とする旨発表。
- ・2日、ルプ大統領代行(民主党党首)は、12月16日予定の大統領選挙に立候補するとし、野党・共産党及び同党を離党した3名の議員との協議を続けていく旨発言。
- ・2日、フィラト首相(自由民主党党首)は、与党連合「欧州統合のための同盟」(AEL)が大統領選出を成功させるために、野党・共産党が望む政府再編成に合意する可能性に言及。

▼その他

- ・1日、議会は、参加議員の不足もしくは大統領候補者の不在等により大統領選挙が不成立となった際は、同選挙日より30日以内に選挙日を再設定することを義務化する提案を採択。
- ・1日、ドドン議員(前第一副首相兼経済・貿易相)は、共産党の離党を表明した同議員他3名は、大統領選挙において与党連合「欧州統合のための同盟」(AEL)の大統領候補者であるルプ大統領代行を支持する意向は無い旨発言。

2. 経済

▼フィラト首相と欧州復興開発銀行(EBRD)総裁との会談

- ・2日、フィラト首相は、モルドバを訪問したミロー欧州復興開発銀行(EBRD)総裁と会談、EBRDプロジェクトがモルドバ経済発展に寄与している旨発言。ミローEBRD代表は、モルドバ政府関係者とエネルギー分野を含めた新しい分野における更なる協力及び今後の展望について議論するためモルドバを訪問、キシナウ市への道路網整備を目的とした約1,170万ユーロの追加融資を行う旨の融資契約に署名。

3. 外政

▼欧州評議会議員会議(PACE)のモルドバ訪問

- ・11月28日～12月1日まで、欧州評議会議員会議(PACE)が、モルドバが欧州評議会に約した義務の遵守状況をモ

ニタリングするため、ノルウェー・ポーランド両国代表を4日間の予定でキシナウに派遣。

▼フィラト首相のチェコ訪問

- ・29及び30日、フィラト首相はチェコを訪問、ネチャス・チェコ首相と会談。両者は、社会保障、医療及び医学分野に関する文書に署名。フィラト首相は、また、チェコ議会両院議長と相次いで会見、議員交流とモルドバの欧州統合へ向けた動きに関し協議。

4. 沿ドニエストル

▼カルポフ副首相のルーマニア訪問

- ・25日、カルポフ副首相は、バコンスキ・ルーマニア外相の招待に応じ、ルーマニアを訪問。両者は沿ドニエストル問題、欧州統合プロセス等につき協議。カルポフ副首相は、30日及び1日にヴィリニウスで開催される「5+2」者フォーマット公式会合は沿ドニエストル問題解決のため重要なステップである旨、また同地で12月6、7両日開催されるOSCE外相会合でも同問題を協議する良い機会である旨述べた。これに対し、バコンスキ・ルーマニア外相は、モルドバの主権と領土一体性を無条件に支持し、「5+2」者フォーマット公式会合を支持する旨述べた。

▼ロシア連邦議会の在外選挙投票所の設置

- ・29日、クジミン在モルドバ露大使は、沿ドニエストルにロシア連邦議会選挙にかかる24ヵ所の投票所を開設する旨表明。右に対し、モルドバ政府は、ロシア側の決定は両国関係に良好な発展に寄与しない旨述べた。

▼「5+2」者フォーマット公式会合

- ・30日及び1日、「5+2」者フォーマット公式会合が、リトアニアのヴィリニウスで開催。5年以上ぶりに再開された第1回「5+2」者フォーマット公式会合は、交渉の基本原則と今後の交渉過程をどうするかという問題に焦点を当てることになった。次回協議は、次期OSCE議長国であるアイルランドで2012年2月に開催される次回会合で引き続き行われることとなった。

▼「大統領」選挙に向けた動き

- ・28日、沿ドニエストル「中央選挙管理委員会」は、サフォフ政治学者を6人目の「大統領」選挙候補者として登録。

※本週報ではモルドバの首都名「キシニョフ」(ロシア語読み)を暫定的に「キシナウ」(モルドバ語読み)と標記しています。
(了)